

保護具の正しい使用方法について

- 安全帯
- 防じんマスク・電動ファン付き呼吸用保護具
- 保護帽 (ヘルメット)

公益社団法人 日本保安用品協会



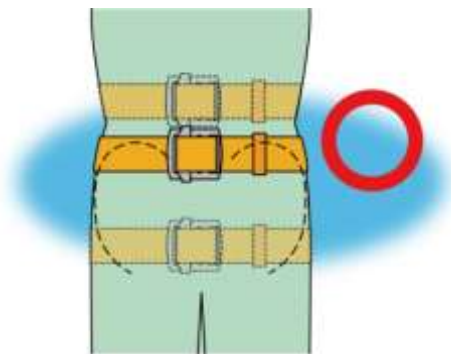
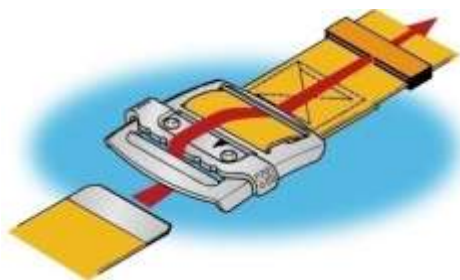
安全帯の正しい使い方

① 安全帯の使用方法の基本



安全帯は取扱説明書の手順に従って確実に装着
していますか？

ベルトは正しくバックル
に通っていますか？



胴ベルトは**腰骨の上**で締めていますか？



墜落時の衝撃による背骨への
負担を軽減させるために、**D環**
あるいは**巻取り器の位置を身**
体の横、あるいは斜め後にくる
ように装着していますか？



ポイント Point 3

安全帯に縫い付けてあるネームに**使用開始年月日**を記入し、交換時期の目安にしていますか？
(ロープ/ストラップは**2年**、他は**3年**が交換の目安です)

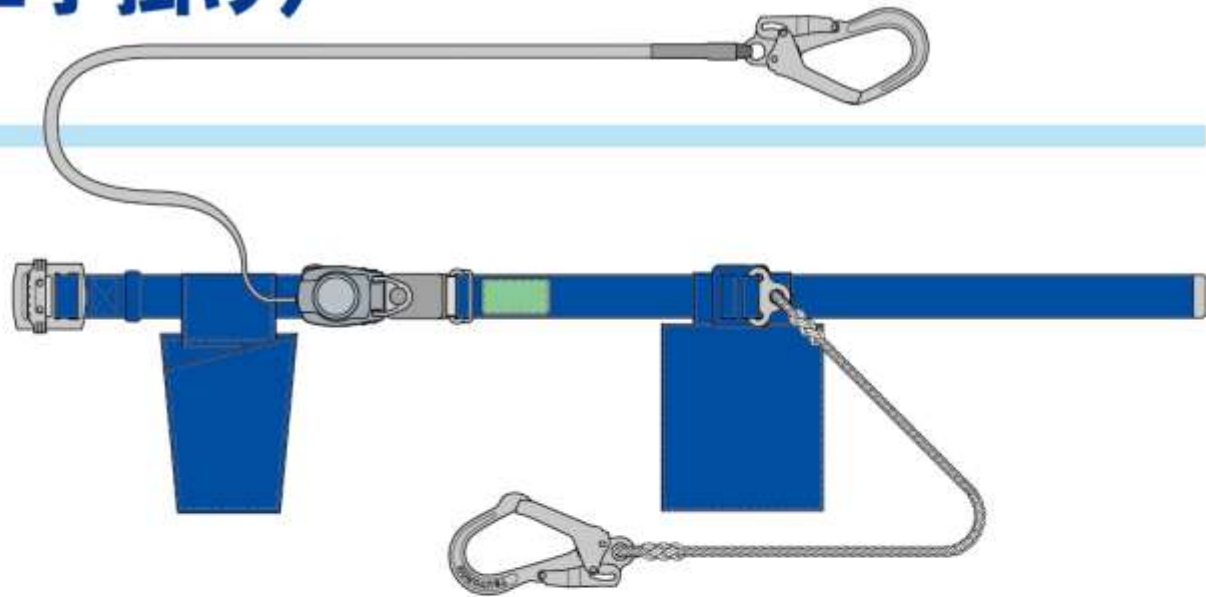


ポイント Point 4

フックは**D環より高い位置**に取付けていますか？



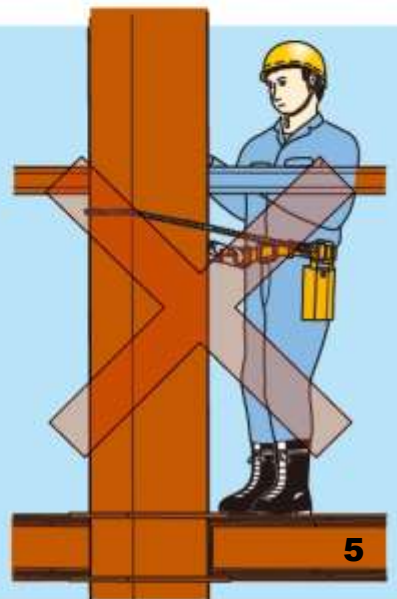
ランヤード2本式 (2丁掛け) 安全帯



組む上での **注意事項!!**

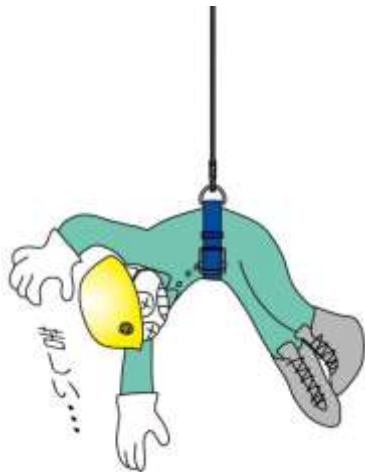
- U字つりできない構造であること。
- 同一メーカーで組み合わせること。

厚生労働省「安全帯の規格」より



ハーネス型安全帯を使用しよう!!

年齢及び体型の異なった被験者に「胴ベルト型安全帯」と「ハーネス型安全帯」を装着させ、無抵抗状態でウインチで吊り上げ、体に加わる変化(痺れ・呼吸の状態)を調べた。



■ 胴ベルト型安全帯の宙つり状態

数秒から最長でも数分で、圧迫による息苦しさや腰部の痛みの訴えがあり、試験を中止した。



■ 胴ベルト型安全帯の宙つり状態

定めた試験限度の15分間をほとんどの被験者が耐えられた。腿部や股部に痛みを感じるものの、耐えられないほどの痛みではなかった。



防じんマスク・


電動ファン付き呼吸用保護具の

正しい使い方

じん肺の写真



じん肺から身体を守るためには、防じんマスク・電動ファン付き呼吸用保護具を使用しなければならない。



国内では、「粉じん障害防止規則」
等で防じんマスク等を使用しなくては
ならない作業が決められています。

最近では、従来では使用しなくても
よかった屋外での作業でも使用を
義務付けています。

使い捨て式防じんマスク




取替え式防じんマスク



電動ファン付き呼吸用保護具





防じんマスク・電動ファン付き
呼吸用保護具は、正しく使用しま
しょう。

(必ず取扱説明書をお読みくださ
い。)

マスクの装着「悪い例」



鼻部に大きなすき間



しめひもが片側外れている



マスクが上下さかさま



吸収缶やフィルターが
付いていない

ヘルメットの正しい着用方法



- 自分の頭に合うようにヘッドバンドの長さを調節する。
- 保護帽がずれたり脱げたりしないようにあごひもをきちんと締める。
- まっすぐに被る。